

附錄

वि.सं. २०१९



例1

防災頭巾の製作(小・高学年、中学生)

活動概要

ボランティアとともに防災頭巾をつくり、高齢者や園児にプレゼントする。

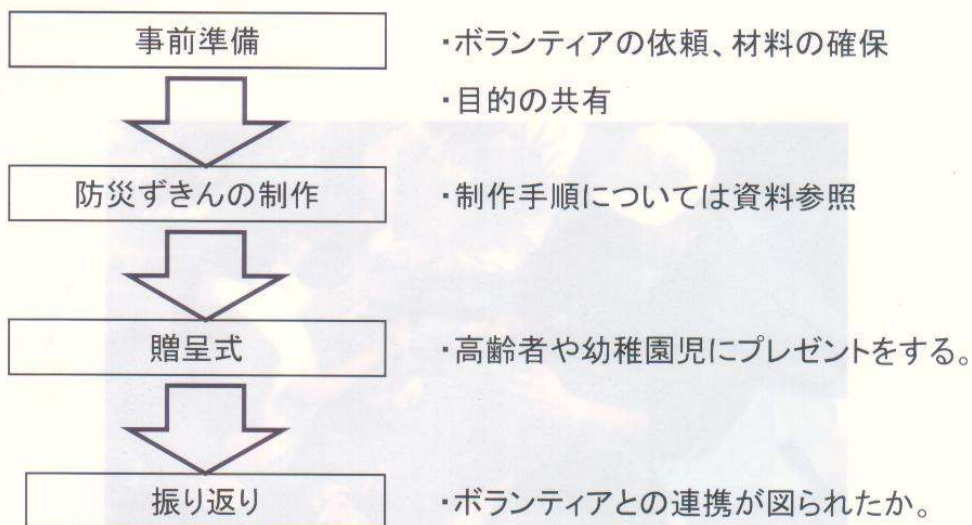
準備物

材料(布、マジックテープ、カラー紐)、ミシン糸、ミシン(裁縫箱)

所要時間

50枚で3時間程度

活動手順



防災頭巾&座布団のつくり方

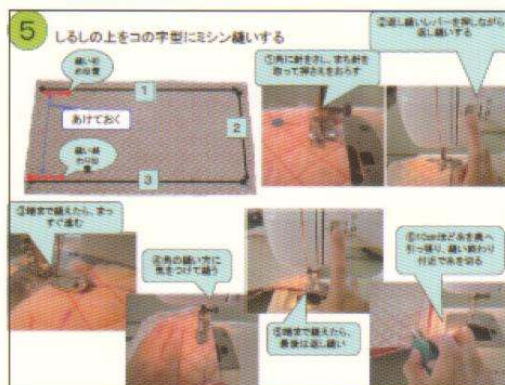
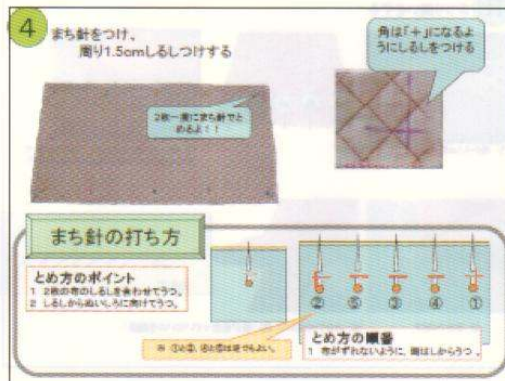
準備するもの

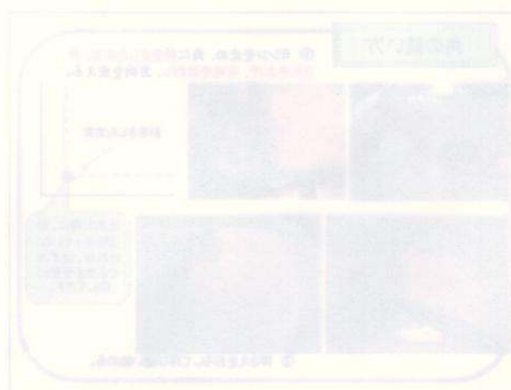
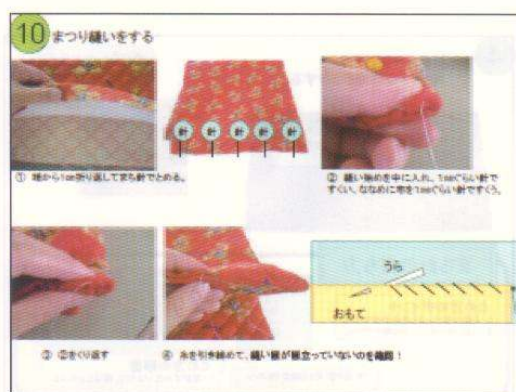
キルティング布
35×70cm(2枚)

平ゴム
50cm

スナップ
2個

トミット布
33×67cm(2枚)





例2

(全)

近所で声かけ避難訓練 (全)

活動概要

家族や近所の方とで避難所へ避難する訓練を行い、避難所までの避難経路の確認と危険箇所の確認をする。

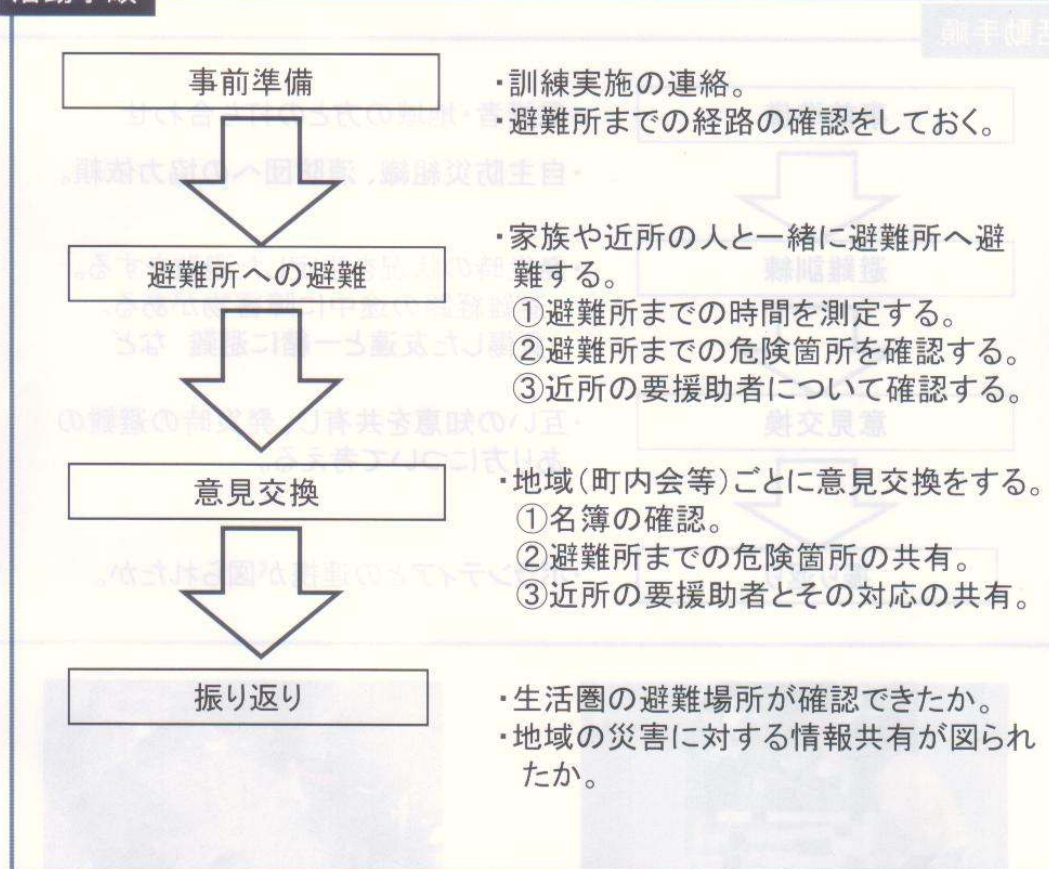
準備物

地図、ゼッケン、筆記用具等

所要時間

2時間程度(実施地域の広さや避難所の数によって異なる)

活動手順



例3

合同避難訓練・避難所体験訓練（全）

活動概要

地域の方と一緒に避難訓練を行い、発災時に起きることがらを想定して、グループで協力しながら避難をする。

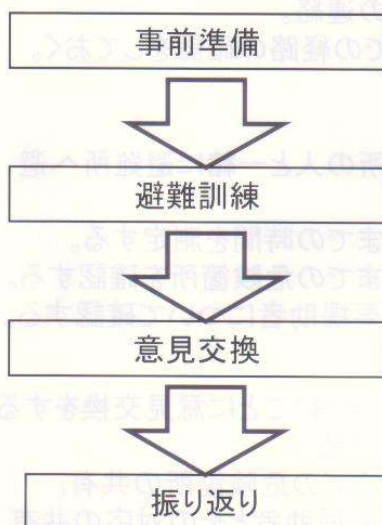
準備物

状況設定に必要な用具（ハードル、コーン、アイマスクなど）

所要時間

1時間程度

活動手順



- ・保護者・地域の方との打ち合わせ
- ・自主防災組織、消防団への協力依頼。
- ・発災時の状況を想定した避難をする。
- ・避難経路の途中に障害物がある。
- ・負傷した友達と一緒に避難 など
- ・互いの知恵を共有し、発災時の避難のあり方について考える。
- ・ボランティアとの連携が図られたか。



実施事例

合同避難訓練・避難所体験訓練

（思考体験型防災訓練「こまった訓」の実施）

1. 目的 「体験」＋「考える」という要素を入れた防災訓練を行い、被災生活の「困った」を体験することで、防災意識を高める。
2. 実施団体 小学校、中学校、高等学校
3. 協力団体 徳島大学環境防災センター、徳島市社会福祉協議会、徳島新聞社
注）思考体験型防災訓練「こまった訓」は協力団体の三者が開発した思考体験型訓練です。
4. 開催場所 高等学校
5. 参加者 小学校（児童・保護者）、中学校（生徒）、高等学校（生徒）、地域住民 計 約70名程度
6. 日程

8:15	教職員集合・打ち合わせ
8:30	班分け掲示
8:40	出欠確認
9:00	開会式
9:05	オリエンテーション
9:20	災害映像・被災体験談
9:50	避難シミュレーションゲーム
11:00	段ボールトイレ作り
11:40	休憩
11:50	トイレ評価
12:00	昼食（避難食）
13:00	簡易タンカによる水運びゲーム
14:00	グループワーク
14:50	閉会式
7. 準備物 段ボール箱、中袖の古着、2リットルのペットボトル（空）1本
8. 留意点 小学生2名・中学生2名・高校生2名・保護者1名の計7名の異年齢集団をその場で作り、避難時に偶然居合わせた仲間であり、相談しながら過ごすという設定で行う。

①困る ②楽しく・面白く ③記憶と記録に残る訓練をしよう

■避難シミュレーションゲーム

○状況設定

- ①倒壊・液状化により障害物が発生したコースを避難する。
・ハードル、跳び箱、ネットなど
- ②被災によりけがを負った人と
支え合って避難する。
・アイマスク、片足立ちなど



※誘導する人がしっかり声で教えてあげたり、肩を貸して支えてあげたりする。

■段ボールトイレづくり

段ボールを使った簡易のトイレや
トイレの囲いを作る。

- ・段ボール箱、段ボール板
- ・ビニール袋
- ・新聞紙、凝固剤など
(作り方は次頁資料参照)

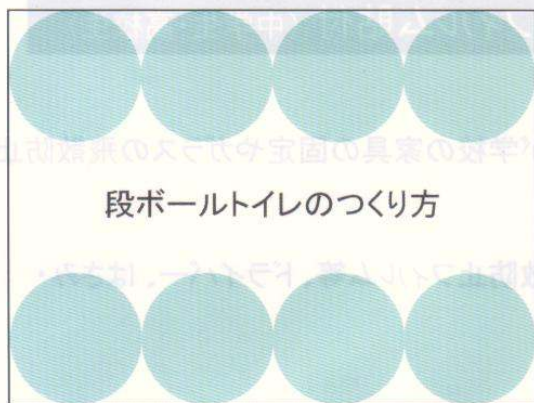


■簡易担架による 水運びゲーム

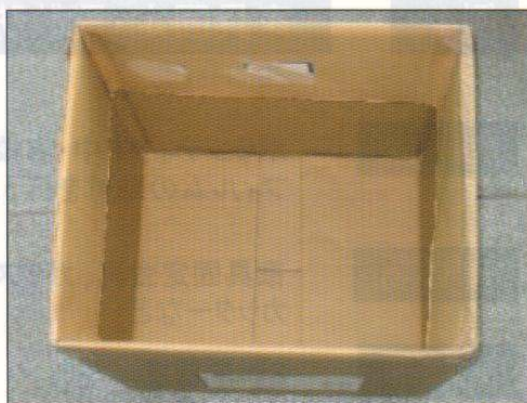
竹の棒に古着を通し作った簡易
担架で水運びゲームを行う。

- ・竹の棒
- ・中袖の古着
- ・2リットルのペットボトルなど

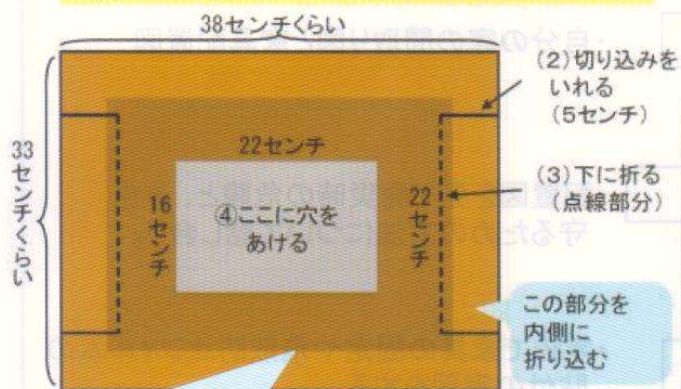




段ボールトイレのつくり方

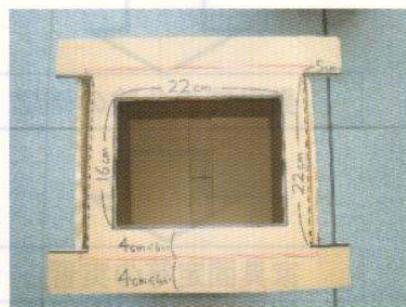


便座用の段ボール板(上からみたところ)



便器用段ボールを下に置く時の所

① ふたを内側に折り便器を作る。



② 段ボール板で便座を作る(左:設計図、右:作成した便座写真)



③ ごみ袋を入れる。

④ ふたを作る。

例4

家具固定・飛散防止フィルム貼付（中学生・高校生）

活動概要

ボランティアと中・高校生が学校の家具の固定やガラスの飛散防止フィルムの貼付を行う。

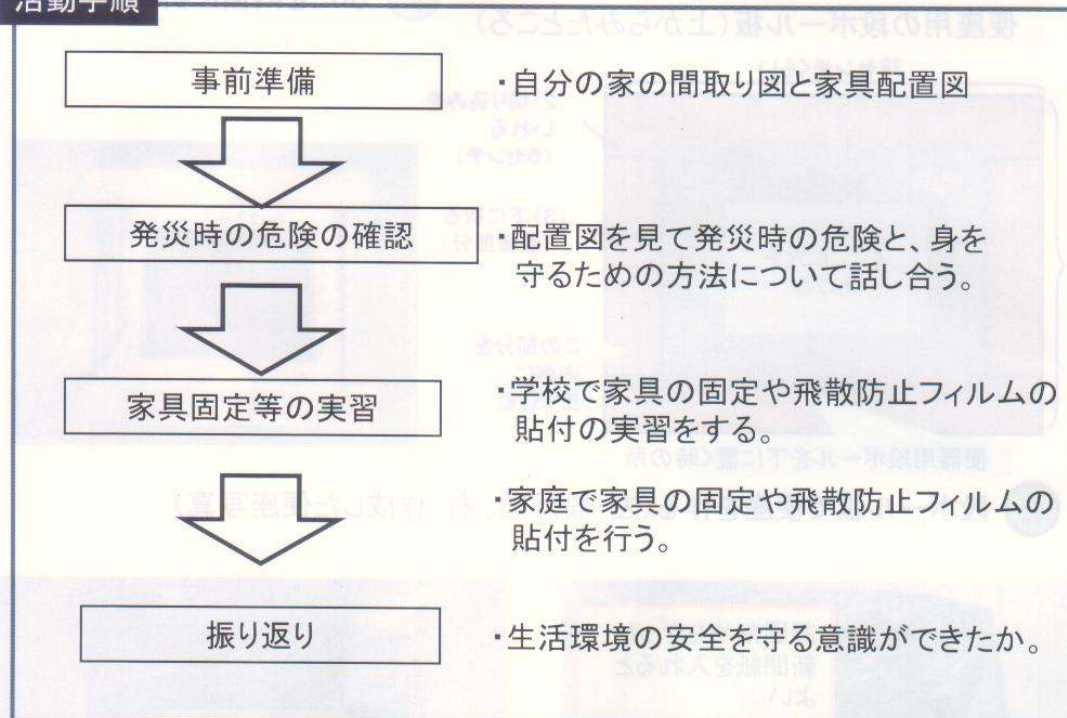
準備物

家具固定金具、ガラス飛散防止フィルム等、ドライバー、はさみ・カッターなど

所要時間

2時間程度

活動手順



※地域の独居老人宅へ出向き、ボランティア活動を行うなど取組を地域へ広げたい。

※火災報知器の取り付けなども可能。

家具固定の方法

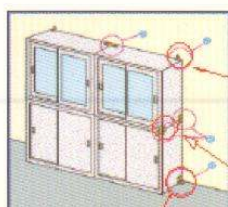
21

①高さのあるオフィス家具等(高さ180cm程度)

原則、壁面に設置した状態で施工する。

＜ロッカー・キャビネット等＞

- ・L型金具により壁面及び床面に固定する。
- ・並列して設置されている場合、平金具により連結する。
- ・やむを得ず、中間に間仕切りとして設置する場合は、背面で連結し、床面も固定する。



(壁固定)



(壁固定)



(連結)



＜L型金具＞



＜平金具＞



(床固定)



(連結)

②その他のオフィス家具等

＜テレビやプリンター、コピー機＞

- ・背の低い(100cm以下)カウンターや机等に設置したテレビ等は、粘着マットにより固定する。
- ・上記以外の背の高いテレビ台等の上に設置したテレビは、止め金具をテレビ台に設置し、チェーン又は針金、ベルトによりテレビ台に固定し、テレビ台は、止め金具とチェーン又は針金により床及び壁等に固定する。
- ・コピー機はキャスターのストッパー又は、付属の滑り止めの確認をする。
- ・止め金具を床又は壁に設置し、チェーン又は針金により固定する。

＜ベルト・チェーン固定＞



＜チェーン固定＞



＜チェーン固定＞



例5

児童生徒引き渡し下校訓練（小・中学生）

活動概要

発災時の児童生徒の安全な下校手段として、保護者への引き渡し訓練を行い、実際の発災時に組織的に機能できるようにする。

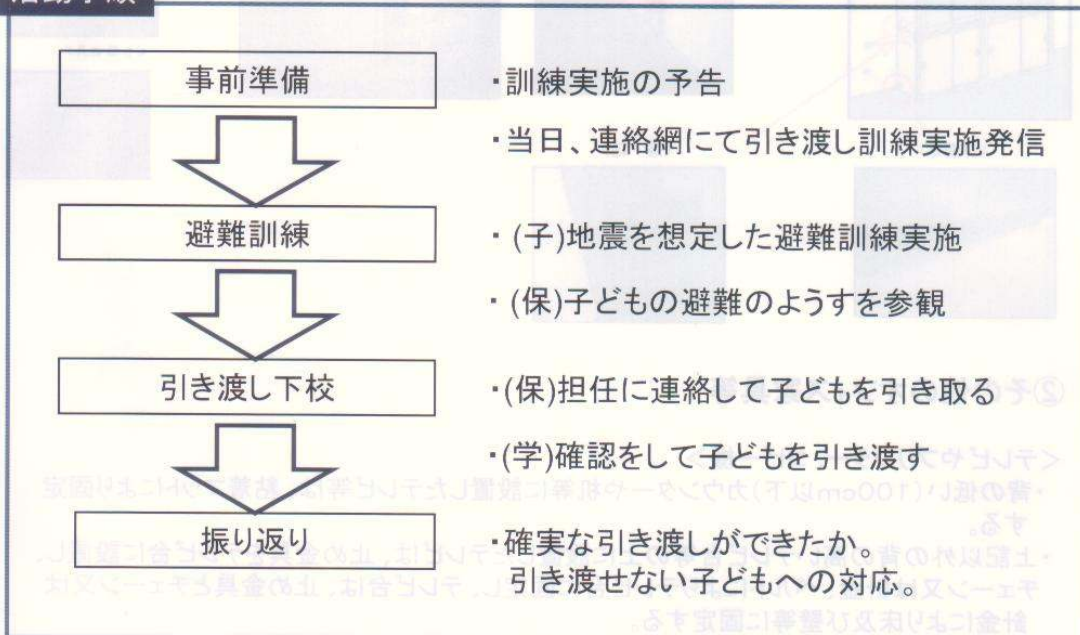
準備物

引き渡し確認表、ハンドマイク、ストップウォッチ等

所要時間

避難訓練から引き渡し終了まで45分程度

活動手順



実施案例

児童生徒の引き渡し訓練

1. 目的 災害発生時における保護者の児童生徒の引き取りが、確実かつ、円滑に行われるよう、学校・保護者・児童生徒が一体となった引き渡し訓練を行う。
2. 日時 ○月○日（○曜日） 14時30分～15時00分
3. 場所 引き取り場所・・・○○学校 各教室
(15:00以降 ○○教室)
4. 日程 10:00 連絡網で各家庭へ電話連絡開始
14:30 引き渡し開始
15:00 引き渡し終了（残留児童生徒移動）
15:30 残留児童生徒下校
(訓練時のみ。実際は引き渡すまで学校で保護)
5. 引き渡し要領
 - ①電話連絡
「○○学校の連絡網です。本日児童生徒の引き取り訓練を実施します。○○時○○分より引き渡しを行いますので学校へお越 ※連絡網の最後の方は連絡が届いたことを学校へ連絡。
 - ②引き渡し準備
 - ・児童生徒引き渡しカード
(事前に引取者、引取先、連絡方法等を記入したもの)
 - ・兄弟がある場合は一番下の子の教室に集合させておく。
 - ③引き渡し
 - ・教室前の廊下に「来校順」に並ぶ。
(下履きはビニール袋に入れて持っていただく)
 - ・「○○の母です。」のようにはっきりと告げていただき、確認した上で引き渡す。「引取者」として学校に登録されていない方へは引き渡さない。
 - ④残留児童生徒
 - ・15:00の時点で引き取りがまだの「残留児童生徒」は○○教室へ移動する。
 - ・今回は訓練なので15:30になっても引き取りがない場合は、下校させる。学童保育の入所児童は、まとめて学童保育所に引き渡す。

6. 留意点

- ①学校の電話は災害時に「緊急連絡用」となるので、訓練中は、学校への電話による問い合わせはご遠慮いただく。
- ②自動車・自転車は混乱の原因となるので使用をご遠慮いただく。

※運動場へ避難した状態での引き渡しや雨の日の引き渡しなど状況や天候に応じた引き渡し方法について決めておく必要がある。

引渡しカード					
年 組					
現 住 所		〒			
緊急連絡先		自宅電話 携帯電話		自宅以外の連絡先（名称・電話）	
本校在学の兄弟等		年 組 氏名 年 組 氏名		年 組 氏名 年 組 氏名	
緊急時の引受人（学校に迎えに来る人・保護者以外の人を含む。）					
No.	引受人氏名	電話番号	本人との関係	登校に要する時間	引受確認
1					
2					
3					
4					
5					
引渡し日時	年 月 日（ ） 時 分				
引渡し場所	校 庭 ・ 体育館 ・ 教 室 ・ その他（ ）				
引渡人氏名					
引渡し後の連絡先	氏 名 電話番号				
主治医の連絡先	氏 名 病 院 名 連絡先				
（備考）					

引渡し時に記入